

カンヒザクラの苗を植える社員＝9日、恩納村赤間総合運動公園



# 環境型社会の実現へ

## 北海道の企業 恩納村でサクラ植林

【恩納】北海道で木材の看板や掲示板などを製作、販売するゼストシステム（旭川市、安井文期社長）が九日、恩納村の赤間総合運動公園でカンヒザクラの植林を行った。ゼストシステムは二年前から木を扱う企業として、環境型社会の実現に向けた取り組みとして植林活動を行っている。二〇〇七年は約一万本、〇八年は約五千本を植林した。今回、社員旅行先の沖縄でもぜひ植林活動

を行いたいと村に要望し、村は場所に公園を提供して実現した。

植林には志喜屋文康村長も参加。歓迎のあいさつで「環境問題が課題に拵がっている中、村で植林を実施してもらい大変ありがたい。村も植えたサクラを大切に育てるので、ぜひ成長した姿を見に来てほしい」と歓迎した。

参加した二十三人の社員は早速植林を開始。スコップで穴を掘り、サクラの苗二百五十本を丁寧に植えていた。安井社長は「環境先進企業として、これからも活動を続けたい」と語った。